大網白里市電子調達システム運用基準

平成21年4月1日制定
平成23年4月4日改正
平成25年1月1日改正
平成25年4月1日改正
平成25年12月12日改正
令和元年8月26日改正

1. 総則

1.1 趣旨

この運用基準は、大網白里市電子調達システムの適切かつ円滑な運用を図るため、関係法令、大網白里市財務規則（平成7年規則第2号）及び大網白里市電子入札約款（平成21年4月1日施行）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

なお、本運用基準に定めのない事項については、大網白里市制限付き一般競争入札の試行実施要領（平成23年10月7日制定）を準用するものとする。

1.2 用語の意義

(1) 大網白里市電子調達システム

大網白里市の発注する建設工事、測量・建設コンサルタントその他の業務委託、物品の購入及び製造の請負等に係る入札を処理するシステムで、電子入札システム、入札情報サービス及び入札参加資格申請システムで構成される。

大網白里市電子調達システムは、「ちば電子調達システム」を利用するものとする。

(2) 電子入札システム

入札案件の登録から参加申請書・入札書の提出や受理並びに落札者決定までの事務（以下「入開札事務」という。）をコンピュータとネットワーク（インターネット等）を利用して処理するシステムをいう。

(3) 入札情報サービス

発注見通し、入札公告及び入札結果等に関する情報をインターネット上に公表するシステムをいう。

(4) 入札参加資格申請システム

入札参加希望業者が入札に参加するため、入札参加資格者名簿へコンピュータとネットワーク（インターネット等）を利用して登録申請を行うシステムをいう。

(5) 入札参加資格者名簿

大網白里市建設工事等競争入札参加資格者名簿をいう。

(6) 電子入札

この運用基準において、電子入札システムにより処理する入開札事務をいう。

(7) 紙入札

紙に記載した一般競争入札参加資格確認申請書、入札書及び内訳書等を使用して行う入開札事務をいう。

(8) 電子入札業者

この運用基準において、電子入札システムに参加する入札参加者をいう。

(9) 紙入札業者

紙に記載した一般競争入札参加資格確認申請書、入札書及び内訳書等を使用して行う入札参加者をいう。

(10) ICカード

ちば電子調達システムを利用できる認証局が発行した電子的な証明書を格納しているカードをいい、電子入札業者と大網白里市の双方でICカードを使用した情報のやり取りを行う。

インターネットなどを利用した電子文書のやりとりで、なりすましや改ざんを防止するために使用される。

(11) 電子くじ

電子入札システムにおいて、くじの公平性を保つため、電子入札業者が入力した任意の数値（くじ入力番号）と処理時刻を用いた演算式により、コンピュータで落札者を決定する機能をいう。

2. 共通事項

2.1 電子入札システムについて

電子入札システムとは、入札手続き及びこれに関連する情報公表等をインターネット技術等を利用して行うシステムである。その導入の目的は、入札過程におけるコストの縮減、透明性の向上及び入札・契約事務の簡素化・合理化等である。

このシステムは、大網白里市が案件の登録、入札参加資格確認申請書、入札書等の受付確認及び通知、開札執行及び開札結果の通知などを行う「発注者機能」、電子入札業者が入札書の提出などを行う「受注者機能」、電子データの授受、非改ざん等を保証する「電子認証機能」等から構成される。

2.2 電子入札システムの利用者について

電子入札システムを利用する者は、ちば電子調達システムを利用できる認証局（以下「コアシステム対応認証局」という。）が発行した電子証明書（情報の発信者が本当に本人であることを受信者に証明する電子的な証明書でインターネット上の身分証明書として利用するもの。以下同じ）を格納したICカード（以下「ICカード」という。）を取得し、入札参加資格者名簿に登載された者とする。

2.3 対象入札方式

電子入札システムの対象入札方式は、当分の間、次の入札方式とする。

- ① 一般競争入札方式
- ② 指名競争入札方式
- ③ 随意契約

2.4 対象入札案件

この基準は、大網白里市が電子入札により発注する、建設工事、測量・建設コンサルタントその他の業務委託、物品の購入及び製造の請負等の調達案件に適用する。

この基準を適用する入札にあつては、原則として全ての入札参加者が電子入札システムにより電子入札を行うものとする。

2.5 入札情報サービスについて

入札情報サービスとは、調達案件や入札結果などの入札に関する情報をインターネット上に公表するシステムである。その導入の目的は、入札参加業者及び市民が誰でも情報にアクセスできるようにし、電子入札における透明性の向上を図るものである。

2.6 入札参加資格申請システムについて

入札参加資格申請システムとは、インターネット上で入札参加資格登録を行うシステムである。その導入の目的は、書類作成及び本市窓口への来庁負担軽減等である。

2.7 システムに関する問い合わせについて

大網白里市は、電子入札システムを利用する利用者に対し、円滑にシステムを運用するため、ちば電子調達システムサポートデスクを利用するものとする。

ちば電子調達システムサポートデスクの受付時間は、県の休日（千葉県の日に関する条例（平成1年千葉県条例第1号）に定める休日）を除く平日9：00から17：00までとする。

2.8 システムの運用時間

電子入札システム、入札情報サービス及び入札参加資格申請システムの運用日は、原則として無休とし、運用時間は、次のとおりとする。

対象者	電子入札システム	入札情報サービス	入札参加資格申請システム
受注者	8：00 ～24：00	0：00 ～24：00	8：00 24：00
	（県の休日を含む）		

ただし、システムメンテナンス等によりシステムを停止できるものとする。

その場合、ちば電子調達システム受注者ポータルサイトにおいて当該情報を公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3. 電子入札システム

3.1 ICカードの取扱いについて

3.1.1 利用者登録について

電子入札業者は、初めて電子入札システムを利用する場合及び新しくICカードを取得した場合、電子入札システムの利用者登録を行うものとする。

利用者登録は、入札参加資格者名簿とICカードの情報が一致していなければならない。

3.1.2 利用者登録内容の変更について

電子入札業者は、電子入札利用者登録事項に変更が生じた場合、速やかに登録内容の変更を行うものとする。

変更内容は以下のものとする。

企業情報

- ① 電話番号
- ② FAX番号
- ③ 部署名

代表窓口情報及びICカード利用部署情報

- ① 連絡先名称（部署名）
- ② 連絡先郵便番号
- ③ 連絡先住所
- ④ 連絡先氏名
- ⑤ 連絡先電話番号
- ⑥ 連絡先FAX番号
- ⑦ 連絡先メールアドレス

3.1.3 ICカードの名義人について

ICカードの名義人（商号又は名称、住所を含む。以下同じ。）は、大網白里市入札参加資格審査を申請した代表者又は代理人（年間委任状における入札に関する権限の受任者とする。以下同じ。）とする。ただし、代理人は代表者のICカードを利用できるものとする。

なお、名義人の変更等の事由が発生した場合、必要に応じて再取得の手続きを行うものとする。

3.1.4 ICカード複数枚の登録について

電子入札業者は、ICカードの喪失又は破損等に備えて、予備のICカードを購入しあらかじめ利用者登録を行うことを推奨する。

3.1.5 ICカードの更新について

電子入札業者は、使用しているICカードの有効期限切れが間近の場合、ICカードの更新を行うものとする。

また、ICカードの更新は、旧ICカードの有効期限内に限り実施可能なものとする。

ただし、更新のための新規ＩＣカードは、「ＩＣカード企業名称」「ＩＣカード取得者氏名」「ＩＣカード取得者住所（ローマ字表記）」「所属組織の本店所在地」のカード登録内容のすべてが旧ＩＣカードと一致するものとする。

ＩＣカードの更新後、旧ＩＣカードは有効期限内であっても利用不可能となるため注意するものとする。

3.1.6 ＩＣカードの失効について

電子入札業者は、以下に示す事象が発生した場合、ＩＣカードが失効となるため、速やかに認証局へＩＣカードの失効申請を行うものとし、必要に応じて再取得の手続きをとるものとする。

- ① 紛失・盗難
- ② 破損
- ③ 利用中止
- ④ ＩＣカードがロックした時（ＩＣカード用ＰＩＮの誤入力）
- ⑤ 名義人となっている代表者を変更した時
- ⑥ 以下に示す、電子証明書情報を変更した時
 - ・ ＩＣカード企業名称
 - ・ ＩＣカード取得者氏名
 - ・ ＩＣカード取得者住所
 - ・ 所属組織の本店所在地（登記簿事項証明書記載の本店住所が変更となった場合のみ）
- ⑦ 利用者が退職した時

3.1.7 入札参加中のＩＣカードの取扱い

電子入札業者は、入札書の提出から開札手続きが終了するまで同一のＩＣカードを使用し、開札予定日前にＩＣカードの有効期限が切れることのないよう注意するものとする。

3.1.8 特定建設工事共同企業体におけるＩＣカードの取扱い

特定建設工事共同企業体（以下、「特定ＪＶ」という。）用に使用できるＩＣカードは、特定ＪＶの構成員の代表者（入札参加資格者名簿に登載されている者）又は代理人のＩＣカードとする。

3.2 対象入札案件の取扱いについて

3.2.1 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出について

入札参加希望者は、電子入札案件について、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出を電子入札システムで行わなければならない。

入札参加希望者は、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出について入札参加申込締切日時（締切日時直前）から相当な期間余裕をもって提出するものとする。

3.2.2 一般競争入札参加資格確認申請書等の提出後の辞退について

入札参加者は、入札参加者の都合により、一般競争入札参加資格確認申請書等の提出後、入札書の提出前に入札を辞退する場合、入札書受付締切予定日時までに電子入札システムにより辞退の理由を明記した辞退届を提出するものとする。

3.2.3 入札参加申込締切日時を変更した場合について

大網白里市の都合により入札参加申込締切日時を変更した場合、入札参加申込をした者に対し電話等により連絡するとともに、大網白里市ホームページにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3.2.4 案件が変更された場合について

大網白里市の都合により調達案件情報を修正した場合、入札参加申込をした者に対し電話等により連絡するとともに、大網白里市ホームページにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

3.2.5 案件が取り消しされた場合について

大網白里市の都合により入札参加申込締切日時前、入札書受付締切予定時刻前及び開札前に調達案件を取り消した場合、既に提出済みの一般競争入札参加資格確認申請書、入札書等は無効とし、電子入札システムから電子メールにより、入札参加申込をした者に対し中止通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに中止通知書の内容を確認するものとする。

3.3 添付資料の取扱いについて

3.3.1 必要書類の添付について

一般競争入札参加資格確認申請書等の必要書類等は、電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで添付するものとし、そのファイル容量は3MB以内とする。

なお、その他必要とする添付書類がある場合は、入札公告にその旨を記載するものとする。

添付する書類の作成ツールは次のとおりとする。

No.	使用アプリケーション	保存するファイル形式
1	Microsoft Word	Word2010 形式以下での保存
2	Microsoft Excel	Excel2010 形式以下での保存
3	PDF ファイル	Acrobat10以下で作成したもの
4	テキストファイル	—
5	画像ファイル	JPEG 及び GIF 形式

注：ファイル名に半角の「&」、「、」は利用できませんので注意してください。

3.3.2 ファイルの圧縮形式について

ファイルの圧縮形式は、zip又はlzh形式に限定し、自己解凍形式（exe形式）は無効とする。

3.3.3 ウィルス対策について

入札参加者は、ウィルス対策用のアプリケーションソフトを導入の上、常に最新のパターンファイルを適用し、書類を作成、添付する際に、必ずウィルス感染のチェックを行うものとする。

契約担当課は、添付された書類にウィルス感染があった場合、速やかに当該書類を添付した者に連絡し警告するとともに、対応（書類の提出方法等）について協議するものとする。

3.3.4 必要書類の再提出について

一般競争入札参加資格確認申請書等に添付した書類に誤り等があり、かつ契約担当課から受付票が発行されていないときは、参加申込締切日時までに電話で再提出の申し入れを行い、承認を得たものに限り必要書類の再提出ができるものとする。

3.3.5 電子入札システムで添付できない必要書類の提出について

添付する書類のサイズが3MBを超える場合、別途指定がある場合及び添付することが困難な書類にあつては、郵送、ファクシミリ又は持参により提出するものとする。

この場合、「提出書類一覧表」（様式1）を電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで送信した後、次により郵送、ファクシミリ又は持参により提

出すものとする。

- ・提出する書類は、電子入札システムの競争入札参加申込書提出完了確認画面、入札書受信確認通知を印刷したものを同封のうえ、当該提出に係る必要書類一式とし、電子入札システムでの提出との分割は認めない。
- ・郵送の場合は、配達記録が残る書留郵便等を利用するものとする。
- ・提出先は、契約担当課とする。
- ・提出期限は、電子入札システムの提出期限と同一とし、契約担当課は必要な関係書類をすべて受理した時点で、電子入札システムにより競争参加資格確認申請書受付票を発行するものとする。

3.4 指名通知及び入札書の取扱いについて

3.4.1 指名通知について

指名通知は、電子入札システムを利用して、行うものとする。指名通知書の内容は、以下のものとする。

- ・入札参加業者コード
- ・企業名称
- ・代表者氏名
- ・調達案件番号
- ・調達案件名称
- ・入札開始日時
- ・入札書提出締切日時
- ・開札予定日時
- ・その他連絡事項
- ・予定価格（事前公表の対象である場合）

3.4.2 入札書の提出について

入札参加者は、電子入札案件について、電子入札システムを利用して入札書の提出を行わなければならない。

入札書の提出期限は、あらかじめ設定した入札書受付締切予定日時をもって、電子入札システムにより締め切るものとする。

以降契約担当課は、いかなる場合においても入札書受付締切後は、入札書を受付けないものとする。

入札書受付締切予定日は、入札書受付開始予定日の翌日以降とし、開札予定日は、入札書受付締切予定日の翌日を標準とする。

ただし、入札書受付締切予定日時の翌日が休日（土日祝日及び年末年始を含む）の場合、休日の次の平日とする。

入札参加者は、入札書受付締切予定日時（締切日時直前）から相当な期間余裕を持って、入札書を提出するものとする。

3.4.3 入札書受付締切予定日時を変更した場合について

大網白里市の都合により入札書受付締切予定日時を変更する場合、契約担当課は、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者に対し日時変更通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに日時変更通知書の内容を確認するものとする。

3.4.4 入札書提出後の辞退について

入札参加者は、入札参加者の都合により、入札書の提出後に入札を辞退する場合、開札開始予定日時までに電話等で入札を辞退する旨を契約担当課に連絡の上、入札辞退届を契約担当課へ提出するものとする。

3.4.5 入札書未提出の取扱いについて

入札参加者が、入札書受付締切予定日時までに入札書の提出を行わず、かつ開札開始予定日時までに入札辞退届の提出を行わなかった場合、「未入札」として取り扱うものとする。

3.5 内訳書の取扱いについて

3.5.1 内訳書の添付について

入札参加者は、入札公告又は指名通知書の規定により内訳書等を添付する案件については、電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで添付するものとし、そのファイル容量は3MB以内とする。内訳書は、「案件名称」及び「商号又は名称」を記載しなければならない。

添付する書類の作成ツールは次のとおりとする。

No.	使用アプリケーション	保存するファイル形式
1	Microsoft Word	Word2010 形式以下での保存
2	Microsoft Excel	Excel2010 形式以下での保存
3	PDF ファイル	Acrobat10 以下で作成したもの
4	テキストファイル	—
5	画像ファイル	JPEG 及び GIF 形式

注：ファイル名に半角の「&」、「、」は利用できませんので注意してください。

3.5.2 ファイルの圧縮形式について

ファイルの圧縮形式は、zip又はlzh形式に限定し、自己解凍形式（exe形式）は無効とする。

3.5.3 ウィルス対策について

入札参加者は、ウィルス対策用のアプリケーションソフトを導入の上、常に最新のパターンファイルを適用し、書類を作成及び添付する際に、必ずウィルス感染のチェックを行うものとする。

契約担当課は、添付された書類にウィルス感染があった場合、速やかに当該書類を添付した者に連絡し警告するとともに、対応（書類の提出方法等）について協議するものとする。

3.5.4 電子入札システムで添付できない内訳書の提出について

入札参加者は、添付する内訳書のサイズが3MBを超える場合、別途指定がある場合及び添付することが困難な場合にあつては、郵送又は持参により提出するものとする。

この場合、「提出書類一覧表」（様式1）を電子入札システムの添付機能を利用して電子ファイルで送信した後、次の手順により郵送又は持参で提出するものとする。

- ① 二重封筒とすること。
- ② 中封筒に内訳書を入れ、その表に内訳書在中の旨並びに件名を記入すること。
- ③ 表封筒に「入札書受信確認通知」を印刷したもの及び中封筒を入れること。
- ④ 郵送に当たっては、入札書受付締切予定日を指定（配達日指定郵便）して、

配達記録が残る書留郵便等を利用すること。

⑤ 郵送及び提出先は契約担当課とする。

上記の規定にかかわらず、契約担当課から別途指定がある場合は、それに従うものとする。

3.6 開札について

3.6.1 開札方法について

契約担当課は、事前に設定した開札予定日時後に、速やかに開札を行うものとする。

ただし、紙入札業者がいる場合は、契約担当者の開札宣言後、紙媒体の入札書を開封し、その内容を電子入札システムに登録後、電子入札書を一括開封し落札者又は事後審査方式の場合は落札候補者（以下「落札者等」という。）の決定を行うものとする。

3.6.2 開札時の立会いについて

入札参加者は、開札に立ち会うことができるものとする。なお、復代理人が立ち会う場合は、立会委任状（様式2）を立ち会い時に提出するものとする。

開札の立ち会いを希望する者がいない場合は、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。

ただし、入札事務の公正かつ適正な執行の確保に支障がないと認める場合は、入札参加者及び当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせないことができる。

3.6.3 落札者等の決定について

契約担当課は、落札者が決定した場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に落札者決定通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムにより速やかに落札者決定通知書の内容を確認するものとする。

ただし、落札候補者が決定した場合、当該候補者の入札参加資格の事後確認を行なうため、落札決定を保留するものとし、電子入札システムにより入札参加者全員に電子メールにて保留通知書を発行した旨を通知するものとする。この場合落札候補者が、事後審査により落札者と決定した場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に落札者決定通知書を発行した旨を通知するものとする。

3.6.4 くじになった場合の取扱い

契約担当課は、落札となるべき同価格の入札参加者が二人以上あり、くじにより落札者等の決定を行うこととなった場合、直ちに電子入札システムにおいて電子くじを実施し、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に落札者決定通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに落札者決定通知書の内容を確認するものとする。

なお、落札候補者の場合は3.6.3の規定を準用する。

紙入札業者については、入札書に記載したくじ番号を契約担当者が入力するものとする。入札書にくじ番号の記載がない場合には、電子入札システムのくじ番号自動生成機能により生成した番号をくじ番号とする。

3.6.5 再度入札について

契約担当課は、再度入札が必要な場合、入札参加者のうち再度入札対象者に対

し、電子入札システムから電子メールにより、再入札通知書を発行した旨を通知するものとする。

再度入札対象者は、電子入札システムより速やかに再入札通知書の内容を確認するものとする。

再入札書の提出期限は、原則として初回開札日の翌日以降とする。

ただし、契約担当課が「すべての再入札書等の提出が確認できれば直ちに開札する」旨を再入札通知書に明記してある場合、すべての再入札書等の提出を確認後、直ちに開札するものとする。

3.6.6 不落随意契約について

契約担当課は不落随意契約（落札者等がないときの随意契約（以下、「不落随契」という。））に移行する場合、電子入札システムから電子メールにより、見積依頼対象者に見積依頼通知書を発行した旨を通知するものとする。

見積依頼対象者は、電子入札システムより速やかに見積依頼通知書の内容を確認するものとし、以下の通り処理を行うものとする。

ただし、下記の処理を行わない場合、不落随意契約参加意思のない者と見なすものとする。

- ① 見積書提出意思のある者は、見積書の提出を行うこと
- ② 見積書提出意思のない者は、辞退届を必ず提出すること

3.6.7 入札の保留について

契約担当課は、入札を保留する場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に保留通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに保留通知書の内容を確認するものとする。

3.6.8 開札の延期について

契約担当課は、開札を延期する場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に日時変更通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに日時変更通知書の内容を確認するものとする。

3.6.9 入札の取止めについて

契約担当課は、入札不調等により入札を取止めする場合、電子入札システムから電子メールにより、入札参加者全員に取止め通知書を発行した旨を通知するものとする。

入札参加者は、電子入札システムより速やかに取止め通知書の内容を確認するものとする。

3.6.10 入札結果公表について

契約担当課は、開札を行った場合、入札結果を電子入札システムにおいて速やかに公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

また、契約担当課は入札情報サービス又は大網白里市ホームページにより速やかに入札結果を参照できるようにするものとする。

3.7 電子入札案件に紙入札業者として参加する場合

3.7.1 紙入札業者として参加を認める場合の条件について

契約担当課は、次の事由に該当する場合に限り、紙入札業者による入札参加を認めるものとする。

- ① 電子入札導入のため、ICカード発行の申請中の場合
- ② ICカードの記載事項（名義人等）の変更により電子入札システムが利用できない場合
- ③ ICカードの失効及び破損等でICカードが使用できなくなり、ICカード再発行の申請中の場合
- ④ パソコン、インターネット環境等のシステム障害及びやむを得ないと認められる事由により、入札締切日時までに入札書が提出できない場合
- ⑤ その他、契約担当課がやむを得ないと認めた場合

3.7.2 紙入札業者として参加する場合の取扱いについて

入札参加者は、紙入札業者として入札に参加する場合、入札参加申込締切日時までに「電子入札案件 紙入札参加届出書」（様式3）を契約担当課へ提出するものとする。

また、電子入札業者として入札に参加したのち、前項②、③及び④の理由により、電子入札システムを利用できない場合、入札書受付締切予定日時までに「電子入札案件 紙入札参加届出書」（様式3）を契約担当課へ持参し提出するものとする。

ただし、紙入札業者として入札参加申込をした後の電子入札業者への変更は認めないものとする。

3.7.3 紙入札業者の提出期限及び提出場所について

紙入札業者として入札に参加する場合の「一般競争入札（電子入札）参加資格確認申請書兼誓約書」（様式4）及び入札書等の提出期限、提出場所及び提出方法は、「電子入札案件 紙入札参加届出書」（様式3）を契約担当課に提出した後に通知されるものとする。

3.7.4 紙入札業者の再度入札について

契約担当課は、再度入札となった場合、3.6.5の規定により再度入札を実施するため、紙入札業者は、入札書受付締切予定日時までに「入札書（電子入札案件 紙入札業者用）」（様式5）を契約担当課へ提出するものとする。なお、その提出においては、入札書を封筒に入れ封印のうえ提出するものとする。

4. 入札情報サービス（P P I）

4.1 案件公表の範囲

4.1.1 システムの利用者について

全ての市民は、入札情報サービスを利用できるものとする。

4.1.2 対象案件の範囲

入札情報サービスへの公表対象案件は、大網白里市が発注する建設工事若しくは製造の請負、物品の購入又は設計、測量、調査等の委託業務その他の役務の提供等に係る電子入札、紙入札等の入札情報とする。

4.1.3 入札情報サービスの提供情報

入札情報サービスを使用して提供する情報については、ちば電子調達システム受注者ポータルサイト又は大網白里市ホームページで明示する。

5.入札参加資格申請システム

5.1 利用者番号とパスワードの付与

利用者番号とパスワードの付与については、別に定めるものとする。

5.2 申請者の責任

5.2.1 利用者番号とパスワードの管理

申請者は、入札参加資格申請システムの利用の際に利用者番号及び本人が登録したパスワードについては自己の責任において厳重に管理し、パスワードについては定期的な変更により第三者への漏洩防止に努めることとする。

また、大網白里市は、申請・届出等について、厳重に管理された利用者番号及びパスワードを用いて、本人あるいは代理人により行われたものとして処理する。

5.2.2 利用者番号及びパスワードの紛失、盗難及び不正使用等

申請者は、利用者番号及びパスワードの紛失、盗難及び不正使用等が判明した場合は、速やかに大網白里市に通知する義務を負い、その指示に従うものとする。

5.2.3 障害等により利用できなくなった場合

申請者は、入札参加資格申請システムが障害等により利用できなくなった場合は、速やかに大網白里市に連絡する義務を負い、その指示に従うものとする。

5.2.4 住所等に変更があった場合

申請者は、住所又は所在地、氏名、商号又は名称及びEメールアドレス等に変更があった場合は、速やかに大網白里市が定める所定の変更手続きを行うものとする。

5.3 申請・届出等の委任

5.3.1 申請・届出等の第三者への委任

申請者が、大網白里市に対する申請・届出等を第三者に委任する場合、当該委任を受けて申請・届出等を行う者は当該手続きに関する全権を委任されたものとする。

5.3.2 申請・届出等の委任による損害

委任に係る申請者もしくは他の第三者が被った損害については、大網白里市は一切の責任を負わないものとする。

5.4 個人情報の保護

申請者の個人情報については、個人情報保護関連法令等及び大網白里市個人情報保護条例等に基づいた取扱いを行い、個人情報の保護に努めるものとする。

また、申請者は、入札参加資格申請システムにおいて他人のプライバシーの侵害をする行為をしてはならない。

6. システム障害等の取り扱いについて

6.1 大網白里市のトラブル

契約担当課は、大網白里市電子調達システム用サーバー又はネットワークなどに障害が発生し、入札事務が処理できないことが判明した場合、その原因、復旧見込み等を調査検討し、入札事務の延期又は紙入札への移行など運用の変更を行うものとする。

この場合、契約担当課は、状況に応じて大網白里市ホームページ、電子メール及び電話等の手段により入札参加者（入札参加希望者を含む）に連絡・公表するため、入札参加者は最新の情報に留意するものとする。

6.2 電子入札業者のトラブル

6.2.1 入札参加希望者がICカードを紛失又は破損した場合

入札参加希望者は、入札参加申請前にICカードを紛失又は破損した場合、速やかに認証局に電話連絡を行い、認証局の指示に従いICカードを無効とする申請及び再発行の手続きを行うものとし、ICカード再発行後、新たに利用者登録を行うものとする。

ICカードの再発行が間に合った場合又は予備のICカードが準備できている場合は、再発行後のICカード又は予備のICカードにより電子入札システムに参加するものとし、ICカードの再発行及び利用者登録が間に合わなかった場合は、速やかに3.7の規定により紙入札業者として入札に参加する手続きを行なうものとする。

6.2.2 入札参加業者がICカードを紛失又は破損した場合

入札参加者は、入札参加途中にICカードを紛失又は破損した場合、予備のICカードにより現在参加中の電子入札案件に対して処理を継続して行うものとし、予備のICカードを準備できていない時は、速やかに3.7の規定により紙入札業者として入札に参加する手続きを行うものとする。

また、入札参加者は、速やかに認証局に電話連絡を行い、認証局の指示に従いICカードを無効とする申請及び再発行の手続きを行うものとし、ICカード再発行後、新たに利用者登録を行うものとする。

6.2.3 プロバイダ障害、回線障害及び認証局障害の場合

入札参加者は、プロバイダ障害、回線障害及び認証局障害の場合、インターネット接続業者又は認証局等に電話連絡を行い、障害の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時は、速やかに3.7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行うものとする。

また、入札参加希望者は、電子入札参加前に、インターネット接続業者又は認証局等のホームページにアクセスし、サービスの運用状況等のチェックを行うものとする。

6.2.4 停電が起こった場合

入札参加者は、天災、電力会社の原因による広域的・地域的な停電が発生した場合、テレビ・ラジオ等のメディア情報により、復旧の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時は、速やかに3.7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行うものとする。

6.2.5 機器類（パソコン等）に障害が起こった場合

入札参加者は、機器類（パソコン等）に障害が起こった場合、直ちに障害の状況を調査し、長時間復旧の見込みがたたない時、又は代替機器を準備できない時は、速やかに3.7の規定により電子入札業者から紙入札業者へ移行手続きを行なうものとする。

6.2.6 その他の場合

入札参加者は、上記以外の事象により電子入札システムに参加できなくなった場合、又は、電子入札に関する質問等がある場合、ちば電子調達システム受注者ポータルサイトに掲載してある、「よくある質問」を参照し、該当事例がある場合は、その対応方法に従い対応するものとする。

また、上記により対応できない場合は、契約担当課（又はちば電子調達システムサポートデスク）に電話連絡を行い、その指示に従い対応するものとする。

7. 不正行為等の取り扱いについて

7.1 ICカードを不正使用等した場合の取扱いについて

大網白里市は、入札参加者が次に掲げる場合その他ICカードを不正に使用等した場合には、当該入札参加者の指名を取り消す等、当該入札への参加を認めないことができるものとする。

落札後に不正使用等が判明した場合には、契約締結前であれば、契約締結を行わないことができるものとする。

また、契約締結後に不正使用等が判明した場合には、事業の進捗状況等を考慮して契約を解除するか否かを判断するものとする。

不正に使用等した場合の例示

- ① 他人のICカードを不正に取得し、名義人になりすまして入札に参加した場合
- ② 代表者又は利用者に関する情報が変更となっているにもかかわらず、変更前の代表者又は利用者のICカードを使用して入札に参加した場合
- ③ 同一案件に対して、故意に複数のICカードを使用して複数の参加申請書や入札書を提出して入札に参加した場合

7.2 添付された書類にウイルス感染があった場合

3.3.3 又は3.5.3の規定により、大網白里市が警告したにも関わらず有効な処置を講じることなく、再度ウイルスに感染した書類を添付した者については、指名停止等の措置を行うものとする。

8. 免責事項

8.1 大網白里市電子調達システムの改修、運用の停止等

大網白里市は、必要があると認めるときは、大網白里市電子調達システムの改修、運用の停止、中止、中断を予告なく行うことができることとする。この場合において発生した利用者の損害について、大網白里市は一切の責任を負わないものとする。

8.2 大網白里市電子調達システム運用基準の変更

大網白里市は、利用者への事前の通知を行うことなく大網白里市電子調達システム運用基準（以下「運用基準」という。）を変更できるものとする。利用者は、利用の都度、運用基準を確認することとし、運用基準変更後に大網白里市電子調達システムを利用した場合は、変更後の運用基準に同意したものとみなす。